

レジメン番号	0658	レジメン名	DCd療法(3-6コース目)
登録診療科	血液内科	使用薬剤	カイプロリス、ダラザレックス、デキサート/レナデックス
がん腫	多発性骨髄腫	インターバル日数	28日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者 投与量	Day1 (/)	Day2 (/)	Day8 (/)	Day9 (/)	Day15 (/)	Day16 (/)	Day22 (/)	…Day28
カイプロリス 56mg/m ²	点滴	mg	↓	↓	↓	↓	↓	↓		4週間を 1クール
ダラザレックス 16mg/kg	点滴	mg	↓				↓			
デキサートまたは レナデックス 20mgまたは40mg	点滴	mg	↓ (20mg)	↓ (20mg)	↓ (20mg)	↓ (20mg)	↓ (20mg)	↓ (20mg)	↓ (40mg)	

(支持療法)

※3 Day1,15 経口剤あり

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
① カイプロリス	10mg	5%ブドウ糖 100ml	30分/点滴
	40mg		
② ダラザレックス	100mg	生食 500ml	※3 下記参照/輸注ポンプ
	400mg		
③ デキサート	3.3mg	5%ブドウ糖 100ml	30分/点滴
④ 生食	50ml		5分/点滴

《Day1,15》: メインルートなし

(30分)

(5分)

(5分)

投与順番>> ③ → ① → ④ → ② → ④ → 終了

《Day2,8,9,16》

投与間隔>> ⑤ ※1(メインルート)

(30分)

(30分)

(5分)

投与順番>> ⑤ → ③ → ① → ④ → 終了

【備考】

※1 ⑤5%ブドウ糖 100ml(メインルート) (Day2・8・9・16)

※2 カイプロリスまたはダラザレックス投与 1~3 時間前に、解熱鎮痛剤 (アセトアミノフェン 1000mg) 及び抗ヒスタミン剤の予防投与を行う

※3 ダラザレックス投与速度

投与時期	希釈後の総量	投与開始からの投与速度 (ml/h)			
		0~1 時間	1~2 時間	2~3 時間	3 時間以降
初回投与	1000ml	50	100	150	200
2 回目投与	500ml ^{注1}				
3 回目投与以降	500ml	100 ^{注2}	150	200	

注1: 初回投与開始時から 3 時間以内に infusion reaction が認められなかった場合、500ml とすることができる。

注2: 初回及び 2 回目投与時に最終速度が 100ml/h 以上で infusion reaction が認められなかった場合、100ml/h から開始することができる。